

ドラゴン／ブルース・リー物語（1993）

DRAGON: THE BRUCE LEE STORY

メディア 映画

ジャンル アクション 伝記

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 120分

初公開日 1993/08/21

公開情報 U n i = U I P

【解説】

1973年7月20日、急逝した伝説のアクション・スター、ブルース・リーの生涯を初めてハリウッドが描く。

傷害事件を起こし、単身アメリカへ渡ったリーは、大学に通いながらも苦労してクンフー道場を開く。その影には常に愛妻リンダの姿があった。同郷の掟にそって行った闘いの中、致命的なケガを負わされるリー。だが、リンダと幼い息子ブランドンのために、リハビリを続け復活を果たす。やがてリーの資質に目をつけたハリウッドはTV「グリーン・ホーネット」の準主役に彼を抜擢、リーのスターとしての将来は明るく見え始めたが……。

随所に幻想的な描写を挿入、これがかえってブルース・リーの悲劇的運命を強調する効果を上げており、単なる伝記ものとは一線を画する仕上がりとしている。特に幼いブランドンに迫る死神を必死に追い払おうとするシーンは、公開当時既に父親と同じくハリウッドでスターへの階段を歩み始めていたブランドン・リーが「クロウ／飛翔伝説」撮影中に事故死していた事もあって、胸に迫るものがある。J・S・リーは顔つきはまったく似ていないが、細かい仕草やアクションをよく研究しており、“リーらしさ”がよく出ているし、妻のリンダ役のL・ホリーは昔、映画雑誌でよく見たリンダ・リーにそっくりだった。万人向けの作品ではないかもしれないが、希代のアクション・スターの短い一生を駆け足で追った割には（もちろんかなり脚色も施されている）、ツボを押さえてタイトにまとまっていると言えよう。アカデミー作品「フォレスト・ガンプ／一期一会」の“予告編”に使われた事でも判るが、R・エデルマンの音楽は勇壮かつドラマチックな名スコアだ。

【クレジット】

監督	ロブ・コーエン	Rob Cohen	
製作	ラファエラ・デ・ラウレンティス	Raffaella De Laurentiis	
	ジョン・バダム	John Badham	
製作総指揮	ダン・ヨーク	Dan York	
原作	リンダ・リー・キャドウェル	Linda Lee Cadwell	
	ロバート・クローズ	Robert Clouse	
脚本	エドワード・クマーラ	Edward Khmara	
	ジョン・ラッフォ	John Raffo	
	ロブ・コーエン	Rob Cohen	
撮影	デヴィッド・エグビー	David Eggby	
編集	ピーター・アムンドソン	Peter Amundson	
音楽	ランディ・エデルマン	Randy Edelman	
出演	ジェイソン・スコット・リー	Jason Scott Lee	ブルース・リー
	ローレン・ホリー	Lauren Holly	リンダ・リー

ナンシー・クワン	Nancy Kwan	グッシー・ヤング
ロバート・ワグナー	Robert Wagner	ビル・クリーガー
マイケル・ラーンド	Michael Learned	ヴィヴィアン・エメリー
スターリング・メイサー	Sterling Macer	
ジョン・チャン	John Chiang	
フォーリー・スミス	Forry Smith	
オン・スー・ハン		
ケイ・トン・リム	Kay Tong Lim	
リック・ヤン	Ric Young	
リヨン・ワン	Luoyong Wang	
スヴェン＝オリ・トールセン	Sven-Ole Thorsen	
アキ・アレオン	Aki Aleong	
シャノン・リー	Shannon Lee	
マイケル・カドリッツ	Michael Cudlitz	